

10

## 茅原沢

ち はら ざわ

所在地：岡崎市茅原沢町及び秦梨町

—県内稀なヒメシャラの自生地—

昭和59年3月28日指定

面積 (ha)

普通地区(全域)
14.36

茅原沢自然環境保全地域は、岡崎市の東部、乙川と男川の合流地点付近、乙川左岸の茅原沢神明宮とその北側にあります。

この地域の標高40mの川岸から110mの尾根の間は、アラカシを主とする常緑広葉樹とコナラ等の落葉広葉樹が混じった天然林となっています。

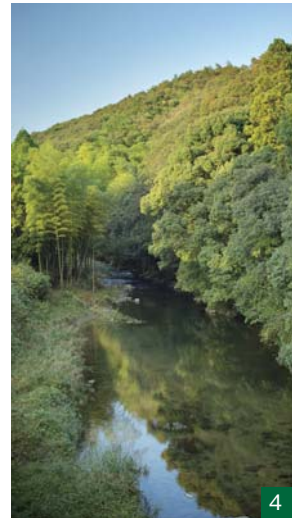
このように標高の低い地域の林にもかかわらず、南側にはヒメシャラが多数生育しており、県内ではあまり見られない特色のある樹林となっています。ヒメシャラは樹皮が赤褐色で皮が落ちた跡は灰白色になるので、その存在はよくわかります。

また、川岸の林床にはムヨウランやアキノギンリョウソウといった腐性植物や、尾根から川岸近くの林床にはササユリやシシガシラ等がみられます。

貝類のツムガタモドキギセルは県内では茶臼山や豊田市内にある伊熊神社にみられますが、この地域はその分布の南限になっています。

また、乙川はゲンジボタルの発生地として国の天然記念物に指定されており、この地域の植生はゲンジボタルの生息環境を保全する意味からも重要な役割を果たしています。

なお、茅原沢神明宮社叢は市指定天然記念物になっています。



1：境内のヒメシャラ 2：茅原沢神明宮  
3：社そう入り口 4：全景  
5：ヒメシャラの樹幹

## 11 壱町田湿地

いっ ちょう だ しつ ち

所在地：知多郡武豊町字壱町田

—知多半島の丘陵地にある湧水湿地—

平成11年2月26日指定

面積 (ha)

特別地区	普通地区	合計
1.13	0.10	1.23

壱町田湿地は知多郡武豊町北西部のなだらかな丘陵地にあります。

湿地を含むこの区域は、周辺の丘陵地が昭和57年から農地として開発されることになったため、町有地として保全されました。

この湿地は泥炭層がほとんど無い砂礫の湧水湿地で、7種類の食虫植物やシラタマホシクサなどの東海丘陵要素植物群が見られるなど豊かな自然環境が残っています。

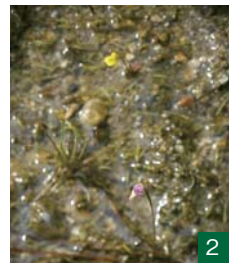
湿地の周囲をヒサカキ等の樹林が囲み、湿地には減少傾向が著しく絶滅危惧種となっている食虫植物であるシロバナナバガノイシモチソウやヒメミカキグサの他、ノグサ、ミカワシンジュガヤなどが見られます。

また、寒冷地性のイワショウブ、ウメバチソウも見られます。

その他蘚苔類のオオミズゴケも生育しています。

昆虫では、水辺の昆虫ヒメタイコウチが見られるほか、湿地を囲む樹林にはハルゼミが生育しています。

なお、この湿地は昭和59年に県の天然記念物に指定されています。



1：全景 2：ミミカキグサとムラサキミカキグサ  
3：天然記念物 4：シラタマホシクサ